

## 議第 27 号 姉妹都市の提携について

### 1 基隆市の概要

#### (1) 歴史

基隆は、清朝中頃から豊富な鉱産物の産出などにより急速な発展を遂げた都市であり、日本の統治（1895年）以降は、計画的に築港工事が進められた基隆港を中心に、近代港湾都市として発展し、1924年に市制が施行されました。

#### (2) 地勢

台湾の最北端に位置し、北は東シナ海を臨んでいます。湾は水深が深く、内陸に湾曲した天然の良港です。北にわずかな平地を有し、三方を山に囲まれています。総面積132.76平方キロメートルのうち、95パーセントが丘陵地です。

#### (3) 人口

約37万人

#### (4) 気候

年間平均気温は約22度で、温暖湿潤な気候です。

#### (5) 政治・経済・文化

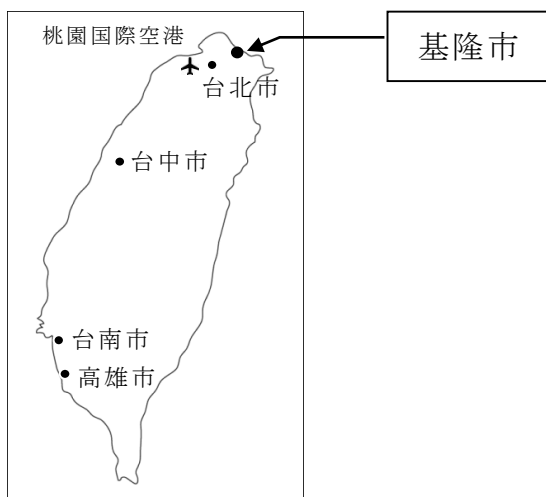
戦前の日本が残した都市基盤を基に、軍民共用の港湾都市として発展し、海軍基地や国立海洋科学技術博物館が設置されています。

その歴史から、スペイン、オランダ、日本統治時代の様々な遺跡が残り、多様な文化が融合した景観が見られます。

毎年、旧暦の7月には、基隆市で最も盛大な祭りである基隆中元祭（祖先等を祭り、魂を慰めるもの）が開催されています。

基隆港は、台湾第2位の貨物取扱量を誇るとともに、基隆港周辺の整備による観光化が進められ、大型クルーズ客船等の船舶による観光客数が台湾第1位の座を獲得するなど、国際的なターミナル港として更なる発展が見込まれています。

### 2 位置図



### 3 経緯

#### (1) 交流のきっかけ

昭和55年、呉グリーンライオンズクラブと基隆中正ライオンズクラブが姉妹縁組を締結し、以来36年にわたる交流を経て両市において都市間交流の要望が高まってきました。

#### (2) 呉市からの訪問

平成28年6月、基隆市長からの招待を受け、市長が「基隆港建港130周年慶祝行事」に出席した際、基隆市側から、学校交流を皮切りとして姉妹都市提携を視野に入れた交流の申出がありました。

同年11月には、副市長が再度、基隆市を訪問し、両市の学校間の交流、観光・産業交流、文化・スポーツ交流について協議を行い、早急に具体案を検討し、実施に向けて取り組んでいくことで合意しました。

また、基隆駅前で行った呉市の観光PRは、基隆市民から大好評を得て、台湾のテレビ、新聞、インターネット等で紹介されました。

#### (3) 基隆市からの訪問

平成29年4月、基隆市訪問団（市長、議会、経済団体含む。）の来呉が予定されています。